

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第13期2月度理事会議事録

- I. 日 時：平成28年2月20日（土）13:15～16:10
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数20名 出席理事数20名（内委任出席4名）
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、鈴木公（副理事長）、赤松利恵、荒川義人、石田裕美、上西一弘、笠原賀子、川久保清、川島由起子、酒井徹（第64回学術総会会長）、下浦佳之、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、南久則、八木典子、河野美穂（委任出席）、新澤祥恵（委任出席）、村山伸子（委任出席）、由田克士（委任出席）
- 出席監事氏名：鈴木和春、林静子
- その他の出席者：吉池信男（第63回学術総会会長）
- V. 議事録署名人の選任に関する事項
- 議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、上西一弘理事及び笠原賀子理事を選任することを全員異議なく承認した。
- VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者
- 【I. 庶務関連事項】
1. 理事に関する細則の改定（川島庶務担当理事）
 2. 国際活動に関する細則・申し合わせの新設（川島庶務担当理事）
 - （1）国際活動推進委員会に関する細則
 - （2）国際学会等への会員の派遣に関する対応方針申し合わせ
 3. マイナンバー制度への対応（事務局）
 4. 会員の異動（川島庶務担当理事）
 - （1）正会員の休会
 - （2）協力会員の退会
 5. 今後の会議予定（川島庶務担当理事）
- 【II. 財務関連事項】
1. NPO第13期経費執行状況（塚原財務担当理事）
 2. NPO第13期会員（会費納入）の状況（塚原財務担当理事）
- 【III. 編集関連事項】
1. 栄養学雑誌編集委員会報告（上西編集担当理事）
- 【IV. 学術関連事項】
1. NPO第13期事業執行状況（赤松学術担当理事）
 2. 第63回学術総会準備状況（吉池第63回学術総会会長）
 3. 利益相反マネジメントの対応（赤松学術担当理事）
 4. 実践栄養学研究セミナーの見直し・充実—地方支部会での実施に向けて—（赤松学術担当理事）
 5. 「生活習慣病予防その他の健康増進を目的とした食事」の推進（赤松学術担当理事）
 6. 関連学協会等との連携（回覧資料）
 - （1）独立行政法人大学評価・学位授与機構「学協会における、大学・大学院教育の質保証の取り組み状況に関する調査」協力
 - （2）農林水産政策研究所「平成27年度農林水産政策研究所シンポジウム」後援
 - （3）NPO法人うま味インフォメーションセンター「2016うま味シンポジウム」後援
 - （4）「第2回山上の光賞候補者推薦」周知協力
 - （5）一般社団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念第4回健康予防医療賞授賞式」出席

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. メールマガジンの検討（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告（武見理事長）
 - (1) 国際学会等運営・連携・協力
 - (2) 国際協力活動
 - (3) 人材育成
 - (4) 国の健康・医療戦略への協力

【VII. 支部会報告】

1. 支部長会議の開催について（武見理事長）
2. 支部会活動報告
 - (1) 北海道支部会（荒川理事）
 - (2) 東北支部会（吉池第63回学術総会会長・東北支部長）
 - (3) 関東・甲信越支部会（武見理事長・関東・甲信越支部長）
 - (4) 北陸支部会（書面報告）
 - (5) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (6) 近畿支部会（八木理事）
 - (7) 中国支部会（名和田理事）
 - (8) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）
 - (9) 九州・沖縄支部会（南理事・九州・沖縄支部長）

【VIII. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告（回覧資料）
 - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2014年度分）
 - (2) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会（2015年分）

VIII. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 庶務関連事項】

1. 理事に関する細則の改定・・・前回理事会で合意した見直しの方針に基づく改定案が配布され、原案を承認した。指定枠（日本栄養士会推薦）については、下浦理事（指定枠理事）から推薦母体（日本栄養士会）の意向が報告され従来どおりとすることを確認した。承認された細則は別紙のとおりである。
2. 国際活動に関する細則・申し合わせの新設・・・次の2件について、原案を承認した。承認された細則・申し合わせは別紙のとおりである。
 - (1) 国際活動推進委員会に関する細則
 - (2) 国際学会等への会員の派遣に関する対応方針申し合わせ
3. マイナンバー制度への対応・・・本学会の活動に係る「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」）」の適用を受ける場面における対応を明確にするために「特定個人情報の取扱いに関する基本方針」を定めることとし、配布された原案を承認した。承認された基本方針は別紙のとおりである。この方針に基づき、個人番号の提供の要求・管理に使用する様式を顧問税理士の指導を受けて整備することを了承した。支部会事業の場面における対応は各支部会が担当するため、「対応のポイント」を整理した文書を提供することとした。林監事から個人番号の提供を要求された事例が紹介された。参考資料として本学会が2005年5月に制定（2010年2月一部変更）した「個人情報の取扱いについて」と、個人情報保護委員会「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編）」の「用語の定義」が配布された。

4. 会員の異動

- (1) 正会員の休会・・・1名の正会員から休会届の提出があったことが報告され、これを承認した（会員に関する細則第4条）。なお休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。
- (2) 協力会員の退会・・・平成27年12月15日付でシスメックス株式会社が退会したことが報告され、2月16日現在の協力会員名簿（19社・20口）が配付された。

5. 今後の会議予定・・・今後の会議予定が配布された。主な予定は次のとおりである。

〔総会〕 9月7日

〔評議員会〕 9月7日

〔理事会〕 5月22日、8月20日

〔監事会〕 8月20日

〔役付理事打合せ〕 4月16日、7月（日付は未定）

【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NP0第13期経費執行状況・・・2月16日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付資料により報告された。
2. NP0第13期会員（会費納入）の状況・・・①今期の支部会別会員数（都道府県別付き）、②NP0第2期（平成16年度）から今期までの新規・継続別正会員数（全国、支部会別）、③NP0第9期（平成23年度）から今期までの支部会別正会員数（継続率付き）が配付され、会員の減少傾向が続いていることが報告された。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・1月31日現在の栄養学雑誌投稿・掲載等の状況が配付され、2月に入ってから投稿数が増えていることが報告された。川久保理事から査読について質疑があった。「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」の発表に伴い、これをテーマに特集（4回シリーズ）を企画している旨、説明があった。赤松理事から、特集のテーマとして「研究倫理」を取り上げてほしい旨、要望があった。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NP0第13期事業執行状況・・・2月16日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 第63回学術総会準備状況・・・栄養学雑誌74巻1号に掲載する開催案内（2）が配布された。事前参加登録者への講演要旨集の配布について、従来行っている冊子体の発送に変えて、パスワードを設定したPDFでの提供（タブレットによる閲覧も検討）を考えたい旨、提案があった。審議の結果、①電子媒体で提供する場合でも講演要旨集の広告に配慮すること、②当日参加者と同様に事前参加登録者にも冊子体の講演要旨集を提供すること、を合意した。この合意を踏まえて、事前参加登録者への講演要旨集の提供方法は、学術総会会長に一任することを了承した。
3. 利益相反マネジメントの対応・・・第63回学術総会でのCOI（利益相反）の申告・開示の具体的な実施方法が配布され、これを了承した。理事長からNP0第14期8月度理事会で、利益相反のマネジメントにかかる学会の指針、利益相反（COI）委員会の設置等の整備を行い、第63回学術総会までに役員（理事・監事）・学術総会事業責任者（学術総会会長）のCOI（利益相反）の申告・開示を実施したい旨、発言があった。川久保理事から雑誌編集委員会の利益相反（COI）の申告・開示について発言があり、今後の検討課題とした。
4. 実践栄養学研究セミナーの見直し・充実－地方支部会での実施に向けて－・・・学術総会時のワークショップの開催、地方支部会との連携・セミナーの展開、栄養学雑誌における実践報告の充実について配付資料により提案があり、この方針を了承した。
5. 「生活習慣病予防その他の健康増進を目的とした食事」の推進・・・食環境整備の推進、学術団体としての社会貢献を目途に、新規事業として「健康な食事（仮）」の認証およびアワードの検討を開始したい旨、配付資料により提案された。この検討のための会議を今期中に開催する

ことを了承した。鈴木監事から、「社会貢献」、「認証制度」という事業の特性に配慮し、関連学協会との連携を重視して欲しい旨、発言があった。

6. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。

- (1) 独立行政法人大学評価・学位授与機構「学協会における、大学・大学院教育の質保証の取り組み状況に関する調査」協力
- (2) 農林水産政策研究所「平成27年度農林水産政策研究所シンポジウム」後援
- (3) NPO法人うま味インフォメーションセンター「2016うま味シンポジウム」後援
- (4) 「第2回山上の光賞候補者推薦」周知協力
- (5) 一般社団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念第4回健康予防医療賞授賞式」出席

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・2月16日までの更新情報が配布資料により報告された。ホームページの見直しについて、理事各位から寄せられた意見と過去5年間の更新記録を参考に、NPO第14期8月度理事会までにリニューアル案を提案できるよう、検討を進めていることが説明され、これを了承した。
2. メールマガジンの検討・・・配信する情報、メールアドレスの管理について検討していることが説明され、これを了承した。

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告・・・次の4件について配付資料により報告された。国の健康・医療戦略（平成25年6月関係閣僚申し合わせ）に基づき設置された医療国際展開タスクフォースの下に、平成27年3月に組織された「栄養改善事業の国際展開検討チーム（議長：飯田内閣官房健康・医療戦略室次長）」に本学会から村山国際担当理事が参画することが説明され、これを了承した。瀧本理事（編集委員長）から、本学会からシンポジストを派遣する 1st International Symposium on Kiwifruit and Health について、事業報告として学会誌に掲載することが提案され、これを了承した。
 - (1) 国際学会等運営・連携・協力
 - (2) 国際協力活動
 - (3) 人材育成
 - (4) 国の健康・医療戦略への協力

【VII. 支部会報告】

1. 支部長会議の開催について・・・理事長から、本部と地方支部会の連携を深め、地方支部会の活動をより活性化することを目途に、学術総会期間中を利用して支部長会議を定例会としたいことが説明された。第1回は第63回学術総会の初日（9月7日）の10時から開催する。本会議は全支部会に出席いただきたいので、支部長が出席できない場合は、代理の出席をお願いしたい旨、発言があった。あわせて4月8日締切で次期評議員候補者の推薦が行われていることに触れ、前回理事会で示した支部会別の評議員目標数を目指し、各支部会の協力をいただきたい旨、発言があった。荒川理事から日本栄養士会長推薦評議員について質疑があり、これについては「栄養実践活動に取り組んでいる適任者50名程度」の推薦を、日本栄養士会長に依頼していることが説明された。
2. 支部会活動報告
 - (1) 北海道支部会・・・第13回支部会学術総会は山部秀子天使大学教授を学術総会会長とし、12月5日に藤女子大学で市民公開講座とともに開催した。活動概要が配布された。
 - (2) 東北支部会・・・第2回支部会学術総会は片山一男尚絅学院大学教授を学術総会会長とし、11月28日から29日に艮陵会館で開催した。初日は実践栄養学研究セミナーinTOHOKUを行った。第63回学術総会の周知のため、これから開催される支部会学術総会に第63回学術総会のポスター

を送付するので協力いただきたい旨、発言があった。

- (3) 関東・甲信越支部会・・・第3回支部会学術総会は川島由起子聖マリアンナ医科大学病院栄養部参与を学術総会会長とし、3月12日に相模女子大学で開催する。また3月12日に開催する支部会総会で支部長を交代する予定であることが説明された。
- (4) 北陸支部会・・・第11回学術総会は原田澄子富山県栄養士会長を学術総会会長とし、2月21日に富山県総合福祉会館で市民公開講座とともに開催することが、配付資料により報告された。
- (5) 東海支部会・・・第5回支部会学術総会は丸山智美金城学院大学教授を学術総会会長とし、6月25日に金城学院大学で市民公開講座とともに開催する。
- (6) 近畿支部会・・・第14回支部会学術総会は岡崎眞畿中央大学教授を学術総会会長とし、12月6日に帝塚山大学で開催した。第15回支部会学術総会は兵庫県が担当する。次回の「栄養学を志す若手のためのフォーラム（日本栄養・食糧学会近畿支部との共催事業）」は日本栄養改善学会が担当する。
- (7) 中国支部会・・・第12回支部会学術総会は川上貴代岡山県立大学教授を学術総会会長とし、6月25日から26日に岡山県立大学で市民公開講座とともに開催する。
- (8) 四国支部会・・・第3回支部会学術総会は、渋谷まゆみ四国大学教授を学術総会会長とし、4月23日に四国大学で市民公開講座ともに開催する。
- (9) 九州・沖縄支部会・・・第3回支部会学術総会は藤井康弘別府大学教授を学術総会会長とし、8月22日に別府大学で市民公開講座とともに開催した。第4回支部会学術総会は9月に中村学園大学での開催で準備を進めている。

【Ⅷ. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2014年度分）
 - (2) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会（2015年分）

以上